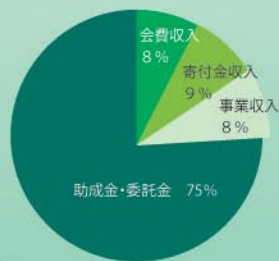


# IVYの活動を 支えてください

現在IVYは、活動資金の大部分を助成金・委託金に頼っています(右図)。この状態では、この先助成金が途切れてしまった場合に活動が立ち行かなくなったり、事務所の縮小を考えなければならぬ可能性もあり、とても不安定な現状です。



IVYはこれからも活動を継続させていくために会費・寄付の分野に力を入れ、バランスのとれた収入構造を作っていくと考えています。より多くの皆さまにIVYの活動をご理解いただき、会員になっていただくことで、年会費という安定した形で資金を得たいと考えています。



## 賛助会員 大募集



### 正会員 特典

- ・ IVY機関誌「地球の片隅から」
- ・ ミニニュースレター
- ・ メールマガジン
- ・ 総会での議決権
- ・ IVY主催の講演会・講座・勉強会・カンボジアスタディツアーなどに参加できます。
- ・ 会員交流イベントに参加できます。
- ・ アジア民芸品(スカーフ、ポーチ、胡椒、やし砂糖、コーヒーなど)が定価の20%引きになります。IVY事務局で販売中。

### 年会費

個人／一口 10,000 円 学生／一口 3,000 円

※ 賛助会費は税の優遇を受けることができます。(5,000 円以上)

## 認定NPO法人

## 国際ボランティアセンター山形(アイビー) International Volunteer Center of Yamagata (IVY)

〒990-2432 山形県山形市荒楯町1-17-40

TEL: 023-634-9830

E-mail: LER04525@nifty.com

URL : www.ivyivy.org



認定NPO法人  
国際ボランティアセンター山形



# あなたが、 世界と 未来をむすぶ

正会員のご案内



\*\*\*\*\*



IVYでは、会員の皆さま向けの感謝イベントを企画しています。第1回目は「カンボジアナイト」。カンボジアの料理や世界遺産アンコールワットなど文化に触れながら、会員同士の交流の場としてお楽しみください。2010年春開催予定です。

\*\*\*\*\*

# 地域にも カンボジアにも もっと笑顔を!

IVYは、1991年に山形で設立された民間の国際NGOです。

1980年代、内戦により傷ついたカンボジア。スタディツアーで難民キャンプを訪れたメンバーは、地方発で「地球の問題」「地域の課題」に取り組もうと、団体を立ち上げました。

カンボジアでの農村支援、身近に暮らす在住外国人の支援、子どもたちへの国際理解教育など、地域でも世界でも、よりよい世界をつくっていく活動を行っています。

## IVYのあゆみ

- 1991年 JVC山形として発足  
在住外国人への相談、日本語通訳支援を開始
- 1993年 カンボジアへの支援を開始
- 1995年 フィリピンへの医療支援を開始(~00)
- 1997年 国際理解教育を開始
- 1999年 IVY(国際ボランティアセンター山形)に名称変更  
NPO法人の認証を取得
- 2000年 東ティモールへの医療支援を開始(~02)
- 2005年 環境教育を開始
- 2008年 国税庁の認定NPO法人資格を取得

## ◆ 主な助成金

外務省、旧郵政省国際ボランティア貯金、(独)国際協力機構「JICA」、(独)国立青少年教育振興機構、三菱国際財団、庭野財団、地球市民財団、山形県山形市、庄内銀行、(財)山形市国際交流協会、(特活)国際協力NGOセンター、国際緑化基金

## ◆ 受賞

山新3P賞平和賞('96)、阪神淡路大震災医療保健活動厚生大臣感謝状('96) 国際交流基金地域交流振興賞('97)、環境やまがた大賞('09)

# 皆さまの会費は、IVYの支援活動に 大切にに使わせていただきます

## IVYの活動1

### 無農薬野菜の生産・販売によって カンボジアの家族の生活が豊かに

ベトナム国境に近いカンボジア南東部のスバイリエン州は、その貧しさで知られています。灌漑設備が未整備で、農民は雨だけに頼ってコメを作っていますが、食べるコメすらも不足しています。コメが足りないと、借りるしか生き残る道はありません。借りた場合は「倍返し」を慣例としており、一度借りると借金ならぬ「借りコメ」が雪だるまのように膨らんでいきます。政府も農村の貧困対策に取り組んでいますが、農民が80%と数が膨大なため、多くの国際機関やNGOも共同で取り組んでいます。IVYは、農業を始め、女性の組織化や主体性を引き出すワークショップを得意としているNGOです。そこで、この特色を生かし、第1段階は村の女性を対象に組織化をすすめ、村の相互扶助活動を推進する要となっています。特に米銀行は農民の借金防止に非常に有効だと多くの村長からも絶賛されています。07年からは、ベトナムからの輸入野菜に市場を独占されている現状で、売り先を確保するべく、有機野菜の栽培や流通、販売などの支援を行っています。



## IVYの活動2

### 山形に住む外国出身者をサポート



山形県に住む外国人の数は2008年度末で7232人に上ります。(内、80%弱は女性) また国際結婚率の高さで全国に知られています。そんな外国人女性の中には、言葉の問題で苦労している方も少なくありません。病院や子どもの学校など、生活に欠かせないそれらの場で戸惑わずに暮らしていけるよう、IVYは医療通訳、6ヶ国語による生活相談窓口、日本語教室を通じて、段階に応じて支援しています。また、通訳者や日本語指導者の質をより高めるために学習会を開催しています。

## IVYの活動3

### 大学生や地域の若者が企画する 環境教育イベント「地球子どもキャンプ」

子どもたちが自然活動を通して、地球環境や世界の問題について考える2泊3日の体験型プログラム。プログラムの内容は、大学生や外国人留学生など地域の若者が企画します。2007年に行われた第四回地球子どもキャンプのテーマは「地球温暖化」。子どもたちは、山形の自然の中でさまざまな活動や実験をして、温暖化防止のために自分たちが出来ることを考えました。参加したのは、県内外から集まった小学校高学年の子どもたち。子どもたちは多くの体験をして、少したくましくなって帰って行きました。



## 使用済みインクカートリッジ、 書き損じハガキを集めています

ご家庭に書き損じハガキや使用済みのインクカートリッジはありませんか? IVYが業者を通じて現金に換え、活動資金の一部として使わせていただきます。(送付先 〒990-2432 山形市荒橋町一丁目17-40 国際ボランティアセンター山形「ECO×国際協力」係まで)

## ファシリテーター養成講座

IVYでは国際理解教育のファシリテーター養成講座として、様々なワークショップを行っています。

## 出前講座

国際理解教育・環境教育を通して、地球上で起こっている様々な問題に関心を持つことを地域の方々に呼びかけていきたいと考え、社員の研修会への出前講座を行っています。

## カンボジアスタディツアー

IVYの活動地・カンボジア東南のスバイリエン州と世界遺産アンコールワットを訪れます。現在実施中のIVY野菜共同出荷プロジェクトの視察、IVYが設立と運営を支援する村の女性組合のインタビューなど、NGOによる草の根の支援事業を直に見ることができます。また農家へのホームステイ、小学校訪問もあります。